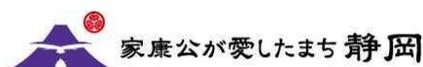


(令和5年6月8日発表)

静岡市大河ドラマ「どうする家康」活用推進協議会
期間限定 どうする家康 静岡 大河ドラマ館で
家康公・築山殿にゆかりのある資料を展示します！

<p>◆アピールポイント</p>	<p>●静岡大河ドラマ館にて、家康公の正妻 瀬名姫(築山殿)の父である関口氏純の文書と、家康公がその印影を肌身離さず持ったとされる摩利支天の印を、<u>6月22日(木)～7月3日(月)の12日間限定で展示</u>します。</p> <p>●2点の資料は今川氏にゆかりがある臨濟寺が所蔵しています。特に関口氏純の書状は、近年の古文書調査で新たに見つかった資料です。</p>
<p>◆内容など</p>	<p>【特別展示期間】 令和5年6月22日(木)～7月3日(月) 9時～18時</p> <p>【展示資料詳細】</p> <p>『関口氏純替地証文』 今川氏の重臣 関口氏純が、今川義元の菩提寺である天沢寺に、領地を寄進したことを記した文書。史料中では「御屋形(=今川氏真)」の名も見られません。氏純は、伝承によると氏真の命令で永禄5年(1562)に亡くなったとされていますが、この文書には、永禄6年(1563)の記載があり、研究者の間で氏純の没年が見直されるきっかけとなっています。</p> <p>※今川義元公生誕五百年事業の一環で平成30年度～令和2年度に静岡市教育委員会・静岡大学が共同実施した「臨濟寺文書調査」にて発見</p> <p>『摩利支天御影黄金印』 家康公は戦の神である「摩利支天」を守り神として信仰していました。この印は家康公の死後、静岡浅間神社内の摩利支天社に祀られていましたが、明治時代の神仏分離により、おさめられていた印や木像は臨濟寺に移り、摩利支天社は八千戈神社に名前を変えました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲関口氏純替地証文</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>◀摩利支天御影黄金印</p> </div> </div> <p>【大河ドラマ館基本情報】 ★詳しくは「家康公が愛したまち静岡」公式ホームページをご確認ください。(https://www.shizuoka-ieyasu.jp/)</p> <div style="text-align: right;">  <p>公式 HP</p> </div>

別紙資料 有・無
ぜひ取材をお願いします！



【問合せ】

大河ドラマ館での展示について
 静岡市大河ドラマ「どうする家康」活用推進協議会
 事務局(静岡庁舎17階 静岡市観光・MICE推進課内)
 担当 海野、赤木(054-221-1421)

資料の詳細について
 静岡市文化財課 文化財保護係(静岡庁舎16階)
 担当 熊谷(054-221-1066)